

6年目の積み重ね❤️ 109名の応援に感謝いたします

昨年4月以来多くの応援をいただき子ども若者支援研究所・応援団会議を横須賀・逗子・鎌倉で展開できました。会員支援者(109名)、行政・個人(115名)への感謝と御礼を心より申し上げます。

“平成”は資本主義の終わりの始まり、バブル崩壊→銀行証券会社倒産→リーマンショック、グローバル化の世界経済“戦争”時代へ。政治が後押しする新自由主義とIT(PC・携帯・スマホ・AI)加速で合



Xmas イルミネーション in 久里浜花の国
by 川辺悟史 左下写真も

理化と分断が。希望はCOP21、SDGs、核兵器禁止条約💖 そして“平成”が終わります。

僕らが提起し続ける不登校、いじめ、社会的ひきこもり、発達障がい等の子ども若者の生きづらさは法制化・インクルーシブで一灯が燈される一方、いじめ・暴言暴力・派遣雇用・貧困等分断強化が格差→落差へ、不安と怖れの深まりが悩ましい。吹けよ風！呼べよ嵐⇒

生きづらさからの解放 チャレンジャーへ

月例応援団会議を4月から3か所で開催してきた。不登校や社会的ひきこもりなど社会から排除される子ども若者や関係者が集まること、それが応援団会議ではない。多様性(ダイバーシティ)を共有する、つながる場としての応援団会議が実現しつつある。当事者の発言行動が3地区での開催を実現、その成果を実感している。生きづらさからの解放、当事者はチャレンジャーとの理解が共有されつつある。当事者と親の発言と交流の風景を切り取ってみた。

それぞれの風

○ひきこもった不登校になった瞬間、僕たちは危機感を抱きます。危機感の中、周囲の人が危機感をあおる社会構造でダメになるんです。僕たちはひきこもり受容、他者承認で前に進めます。不登校、ひきこもりの状態でいい！そして支援にたどり着き、支援するされる関係なく一歩出られる居場所、心地よい人との関係がつくれます。好きでひきこもっているのではないので、アウトリーチという強引な支援を嫌悪します。全然知らない人が家に来て外に行かない？



これは凄く嫌なことです。ひきこもりは関係性の問題、他者の視線に疲れてしまうんです。30'sの集まりが逗子にあり、僕もちょっと居られ気後れしません。属性の一つなんだの他者承認、働く人もランナーや会社経営者、そしてぼくはひきこもり。ここでは同列に扱われます。僕は本当にうれしい、そういう場所が大事です。(新舩さん 逗子応援団・ひきこもり発信プロジェクト)

○「立ち止まり考え、ひきこもる、時間がかからないとそこに至らない。親も腹をすえ向き合う時間が必要」「親も子どもも時間がない。宿題をやらす親にゲームを没収されけんか。クラスの多くが中学受験、公立中学が荒れている？だから塾へ。子どもも親も“こうでなければ”の社会に翻弄される。不登校、他の生き方があってもいいと思いつつ学校へ行けない受け皿がフリースクールなの？“今の教育ではだめ”が増えたが少数派でしかない。そこで生きていくためにひきこもって自分を守ることが大切」「最初その波に襲われた時、どうするどうする…。で

も命を救うためにもがく親がいる。行き場がないからつくる発想をすると人と出会うようになった。つながるといいんだという強さになる。一人っきりでは不安に、分かってくれる場所が大切」「子どもは苦しいが親もまた苦しい。親は地下(家庭にひきこもる)にもいるが、地上(現実の生活)にもいなければならない。※ひきこもりを地下 by 林恭子さん(UX 会議)」「橋本さんら ゆずり葉の会:親の会)

コラム風 危機感あおるビジネス Stop 地域の中で共に Start

『ひきこもり施設の10人保護 中井10~40代、入所経緯で対立』(神奈川新聞12/17)
「納得できないまま入所」「行かないと何度言っても聞いてもらえず、疲れてしまった」「父親の何時まで寝ている、心の乱れは生活の乱れと受け入れてくれない」と保護された若者6人が語る。危うさを感じた僕はワンステップ湘南校事件(左下写真)、中井町へ行ってきました。



スタッフ2人に挨拶自己紹介し新聞記事を見せる。スタッフは「現場では答えられない。本社に聞いて、こういう人が来られたと伝え改めて連絡することになると思う。何が聞きたいのか要点だけを」と聞き返してきた。僕は「街場での支援活動をしているので施設に入れるのは好まない。無理やり連れてこられた、10人が逃げ出した、どういうことなのかを聞きたい。本日午後鎌倉市でひきこもり支援の会議もあり聞きとりに来ました」と。

その後、中井町福祉課を訪問。担当者は「入所後に生活保護受給なので県の管轄、町では把握できていない。地域でのトラブルはないが会社経営なので内部のことは分からない。町や地域との連携や情報の公開はない。入所者は全国からやってきて地域の方は一人もない」と。その後代表の広岡政幸氏から電話をいただいた。共同通信社の記事で全国の地方紙に掲載され、10人保護は事実とのことだが外部団体の介入で今回の事件となったと。入所者は犯罪経験者、薬物依存者や家庭内暴力、障がいの方(?)だったり”親の困っている”状況を引き受けていると強調していた。また10人中3人はその後逃亡して行方が分からないことも付け加えていた。広岡氏に僕は神奈川で活動している者として憂慮し、このような事件は望ましくないことを伝えた。

若者の社会参加の葛藤を親子関係の危機に追い込む社会があり、隔離矯正の「更生」はありえない。地域に開かれ社会参加を具体化することが不可欠。時間をかけ開かれた関係づくりと、行政と民間が協働して進める必要を警告する事件と思う。今少し追求してみます。

読書と講演会 12月15日お伝の会(円覚寺/井手氏)、16日ごちゃ混ぜ de 鎌倉(商工会/柳澤氏)



まちに暮らしの種子を蒔く(野本三吉著)、鎌倉資本主義(柳澤大輔著)、子どものための精神医学(滝川一廣著)、幸福の増税論(井手英策著)

🌸 今年の行動指針となる著書4冊、講演も有意義でした(滝田)🌸

1月予定 ○12日(土)pm2: 思春期連続講座1/3by 滝田衛 inLargo ○13日(日)pm2: 横須賀応援団会議・マジェスティック・リトルエジソン in 横須賀市民活動サポートセンター ○15日(火)am10: 鎌倉市いじめ問題対策連絡協議会 in 市役所 ○20日(日)pm2:15: 講演会「今時代にどう抗うか」by 神奈川新聞記者成田洋樹さん in 藤沢名店ビル6F

○26日(土)pm2: 不登校講演座談会(進路を拓く)by 滝田衛 in 小田原市けやき ○27日(日)pm1:30 返子応援団会議・ひきこもり発信プロジェクト&3時: ゆずり葉の会 in 返子市市民交流センター ○鎌倉市教育センター: 8日(火), 9日(水), 11日(金)深沢小, 16日(水), 18日(金)大船小, 22日(火), 23日(水), 25日(金)富士塚小, 29日(火) ○Largo: 12日(土), ○研究所: 10日(木)24日(木),

【発行編集: 滝田衛】住所: 鎌倉市七里ガ浜東2-31-12 携帯: 09072124055

●メール: qq5656r9@happytown.ocn.ne.jp ●研究所ホームページ: <http://shichirigaoka-lab.jimdo.com/>

●応援団フェイスブック: <https://www.facebook.com/kodomowakamono.ouendan/>